

第1回理事会・第1回評議員会 議決

# 令和6年度 事業報告

公益財団法人テクノエイド協会

目 次

I. 事業実施結果の概要	1
1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）	1
(1) 福祉用具情報システム（TAIS）事業	1
(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業	2
(3) 補装具製作業者情報システム事業	3
(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業	3
(5) 自助具の製作支援等情報提供事業	3
2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）	4
(1) 福祉用具プランナー養成事業	4
(2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施	5
(3) リフトリーダー養成事業	6
(4) 車椅子姿勢保持基礎講習	6
(5) 福祉用具テーマ別セミナー	7
(6) 認定補聴器技能者の養成	7
3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）	10
4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）	10
5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）	13
6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）	13
7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）	14
8. その他	14
(1) 福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットフォーム」 としての役割を果たすための連携・支援	14
(2) 広報活動	15
(3) 海外調査の企画支援	15
(4) 諸外国との交流支援	15
II. 理事会・評議員会の開催状況	16
III. 賛助会員の現況	17
IV. 委員会等の開催状況	18

# I. 事業実施結果の概要

## 概況

生産年齢人口の急速な減少が始まる2040年を見据えて社会保障構造の見直しが進められる中、厚生労働省の令和6年度予算における福祉用具関係等の重点事項として、介護分野においては介護テクノロジー導入支援事業、介護ロボット開発等加速化事業等が盛り込まれた。介護現場において介護ロボットやICT技術を導入することにより生産性を向上するとともに働きやすい職場環境の実現等を行うよう介護業界及び各自治体等に施策の推進を行うよう求めている。

当協会は、厚労省から補助金を受け「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」に取り組み福祉用具・介護ロボットの実用化を促す環境を整備し、介護ロボットの開発から普及までの一連の流れを加速化する事業を実施した。

また、障害福祉サービスの予算では、障害福祉分野におけるICT導入支援、障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業が盛り込まれ、障害福祉サービス事業所等におけるICT導入に係るモデル事業の実施やロボット等の導入支援事業に取り組むよう業界や各自治体に求めている。

当協会は、厚労省から補助金を受け「ニーズ・シーズマッチング強化事業」に取り組み、生活を支える障害者支援機器やICT技術やロボット技術が組み込まれた最新の機器などの試作機等を用いて想定するユーザーと開発者が膝を交えて意見交換できる場を設け、障害当事者のニーズを適切に踏まえた実用的な機器が開発されるよう効果的なモニター評価を行う機会等を創出した。

この外に、当協会の令和6年度の事業の実施に当たっては、政府の施策の動向等に注視しつつ、福祉用具に関する調査研究及び開発の推進、福祉用具情報の収集及び提供、福祉用具関係技能者の養成、義肢装具士にかかる試験事務、補装具としての補聴器の活用という視点だけでなく、近年フレイル予防や認知症対策の観点からも高齢難聴者の早期発見・早期介入が叫ばれ、その基盤づくりが求められていることを踏まえた認定補聴器技能者の養成・研修事業、認定補聴器専門店の認定などの各種事業に確り取り組み、事業計画で計画した目標を概ね達成することができた。

## 1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）

### （1）福祉用具情報システム（TAIS）事業

高齢者・障害者の適切な福祉用具の選定と効果的な利用を促進するため、国内の福祉用具メーカー又は輸入事業者から「企業」及び「福祉用具」に関する詳細情報を収集し、協会ホームページを通じて、全国の市区町村をはじめ、福祉用具貸与事業者、介護施設・事業所のほか、介護支援専門員や家族介護者等に対して情報発信した。

令和6年度は、厚生労働省が行う導入支援の対象となりうる製品の情報提供を行うとともに、各製品の詳細情報から関連するヒヤリハット情報を閲覧できるようにした。また、セキュリティ強化対策のため、福祉用具情報システム（TAIS）のURLを変更した。

《 令和7年3月末現在 情報総数 》

企業情報	801社
用具情報	17,444点

■福祉用具情報の分類別件数

大分類項目		登録件数	構成比(%)
03	治療訓練用具	1,017	5.8
06	義肢・装具	19	0.1
09	パーソナルケア関連用具	1,522	8.7
12	移動機器	7,089	40.6
15	家事用具	24	0.1
18	家具・建具・建築設備	6,822	39.1
21	コミュニケーション関連用具	867	5.0
24	操作用具	20	0.1
27	環境改善機器・操作用具	40	0.2
30	レクリエーション用具	3	0.1
89	その他の用具	6	0.1
90	介護業務支援機器	15	0.1
合計		17,444	100.0

■介護保険対象用具(用具情報のうち)

貸与	13,881点
購入	2,149点
計	16,030点

※選択制対象製品714点含む。

■登録件数の推移

事業年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
企業情報件数 (対前年度増減)	815 (1)	811 (△4)	797 (△14)	783 (△14)	801 (18)
用具情報件数 (対前年度増減)	14,612 (916)	15,270 (658)	15,808 (538)	16,837 (1,029)	17,444 (607)

(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業

協会ホームページを通じて、障害者や介護者等からの福祉用具に関するご意見・ご要望、お困り事等の詳細情報を収集し、全国の福祉用具メーカーや開発・研究者等へ提供した。障害者や高齢者等が真に必要とする福祉用具についての生の声に触れることにより、ニーズを的確に捉えた実用的な福祉用具の研究開発を推進した。

なお、本システムでは、メーカーや研究者等から新しい製品や技術の投稿を可能にするとともに、障害福祉の関係者や行政等が自由に投稿できるお知らせ(掲示版)機能を設けている。

令和7年3月末現在 投稿件数 1,048件

### (3) 補装具製作者情報システム事業

障害者や市町村等の担当者が適切な補装具を選定できるようにするため、義肢製作所の所在地や取扱い種目、義肢装具士等の情報を協会ホームページから情報発信している。

《 令和7年3月末現在 情報総数 》

義肢製作所	235製作所
-------	--------

### (4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業

障害者総合支援法に基づく「義肢・装具及び座位保持装置の完成用部品」について、障害者の身体状況や使用環境に適合した適切な部品が選定・処方されるよう、当該部品の対象者とその効果、さらには適応範囲や調整方法等に関する詳細情報を収集し、協会ホームページから情報発信している。

事業計画では、本システムの利用者の利便性を向上するため、スマートフォン等のモバイル端末対応のシステム開発を予定したところであるが、まずは福祉用具情報システム(TAIS)のシステム改修等を重点的に行ったため、実施には至らなかった。

《 令和7年3月末現在 情報総数 》

企業情報	67社
部品情報	3,020点
(内 訳)	
殻構造義肢	684点
骨格構造義肢	1,331点
装具	635点
姿勢保持装置	370点

### (5) 自助具の製作支援等情報提供事業

障害者の自立を支援するものとして、個別のニーズに応じて製作される自助具について、特定非営利活動法人「自助具の部屋」と連携して、自助具製作に有用な材料や工作法等に関する詳細情報を収集し、全国の自助具工房及びリハビリテーションセンター等へ情報提供した。

令和7年3月末現在 登録数 既製品152件 製作事例199件

## 2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）

### （1）福祉用具プランナー養成事業

福祉用具の選定や使用方法等に関する専門的な知識を有し、福祉用具が適切に利活用できるように支援する役割を担う福祉用具プランナー認定講習を実施した。

当初計画した福祉用具プランナーの資質向上と適切な福祉用具の選定・適合を推奨するための動画を活用した情報提供については、消費生活協同組合助成金事業で作成した車椅子、電動ベッドの安全な使い方に関する啓発動画を集合研修の補助資料として各集合研修実施機関へ提供し活用を促した。

介護テクノロジーに関連する科目の付加については、現行のカリキュラムに介護テクノロジーに関連する部分は包含されているが、各集合研修実施機関からの申請に基づき、現行のカリキュラム以外に介護テクノロジーに関連する科目を追加し集合研修を実施する場合には、追加内容を精査したうえで付加科目として実施を承認した。

また、福祉用具プランナー資格保有者が任意で作成する ID カードをオンラインで申請するためのシステム改修を行った。

（認定者累計 16,070 名）

なお、福祉用具プランナーのさらなる質の向上を図り、福祉用具プランナー認定講習等の指導者（講師）養成、福祉用具貸与事業者等の管理職養成を目的に、福祉用具プランナーの上級資格である「福祉用具プランナー管理指導者養成研修」の実施については、受講希望者からの要望を受けて、単年度で資格取得が可能となるよう 4 コースを単年度で実施した。

（認定者累計 170 名）

#### ① 福祉用具プランナー認定講習

##### 1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 41名

##### 2) 他団体と共催

###### a) 介護実習・普及センター

- ・開催地 北海道、富山、愛知
- ・修了者 43名

###### b) 関係団体

- ・開催地 東京、神奈川、滋賀、大阪、広島、熊本
- ・修了者 143名

##### 3) 教育機関と共催(新潟医療福祉大学、神戸医療福祉専門学校)

- ・開催地 新潟、兵庫
- ・修了者 41名

### ■修了者の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
修了者 (対前年度増減)	117 (△287)	173 (56)	312 (139)	274 (△38)	268 (△6)

(注) 令和3年度は令和4年4月実施分を含む。

### ② 福祉用具プランナー管理指導者養成研修

開催コース	研修期間	開催地	受講者数
起居移乗コース	R6.5.16(木)～22(水)	東京	8名
車椅子シーティングコース	R6.7.1(月)～7(日)	東京	8名
福祉用具工学コース	R6.11.13(水)～19(火)	東京	6名
管理・指導コース	R7.1.20(月)～26(日)	東京	7名

### (2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施

介護保険制度において可搬型階段昇降機を貸与する事業者（福祉用具専門相談員）には、メーカー等による操作講習を受講し、実際に貸与する際に可搬型階段昇降機を介護者に使用させながら操作指導を行うことが義務付けられている。

このため、国内メーカー等が加入している「全国福祉用具人材育成協会」と連携し、可搬型階段昇降機の安全指導員講習（基礎講習（協会実施）及び機種別講習（メーカー実施））を実施し、一定の水準に達した者に可搬型階段昇降機安全指導員資格証を交付した。

また、従来からオンラインで行っている可搬型階段昇降機安全指導員資格証の申請について、申請者の利便性を考慮し一部システムの改修を行った。

(安全指導員資格証交付者数累計 3,284名)

#### ① 基礎講習開催実績

##### 1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 82名

##### 2) 他団体と共催

- ・開催地 愛知、大阪、福岡
- ・修了者 65名

#### ② 可搬型階段昇降機安全指導員資格証の交付実績

- ・交付者数 110名

### ■基礎講習修了者及び資格証交付実績の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
基礎講習修了者 (対前年度増減)	99 (△159)	213 (114)	245 (32)	198 (△47)	147 (△51)
資格証交付実績 (対前年度増減)	104 (△37)	132 (28)	196 (64)	167 (△29)	110 (△57)

### (3) リフトリーダー養成事業

施設等介護従事者の腰痛予防や要介護者の移乗動作を安心・安全に行うためのリフト等の移乗用具を適切に導入、利用するためには施設内で使用計画・利用相談・適切な使用のための研修・使用方法の指導等が重要であり、この中核となる人材としてリフトリーダーの養成研修を実施した。

また、カリキュラムの見直しおよびテキストの改訂については、当初令和6年度より適用する予定であったが、類似する研修・資格制度を参考に関係団体等の意見を踏まえ更なる検討を重ね、令和7年度に調整が整いし新しいカリキュラムに移行する予定である。

(修了者累計 7,468 名)

#### ○リフトリーダー養成研修開催実績

##### ①テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 47名

##### ②介護実習・普及センター（テクノエイド協会主催）

- ・開催地 宮城、茨城、富山、愛知、兵庫、佐賀、大分
- ・修了者 244名

##### ③他団体と共催

- ・開催地 北海道、栃木、千葉、東京、神奈川、静岡、滋賀、大阪、兵庫、鳥取、愛媛、熊本、沖縄
- ・修了者 333名

##### ④教育機関（沖縄リハビリテーション福祉学院、沖縄福祉保育専門学校）

- ・開催地 沖縄
- ・修了者 32名

#### ■修了者の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
修了者 (対前年度増減)	186 (△564)	231 (45)	533 (302)	660 (127)	656 (△4)

### (4) 車椅子姿勢保持基礎講習

高齢者の体幹機能や座位保持機能の低下を軽減し、活動範囲の拡大と自立促進を目的とした車椅子での適切な姿勢保持の知識、技術を習得するための講習会（高齢分野、障害分野）を実施した。

(修了者累計高齢分野 150 名／障害分野 244 名)

#### 【高齢分野】

##### ①他団体と共催

- ・開催地 東京
- ・修了者 18名

## 【障害分野】

### ①テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 8名

### ②他団体と共催

- ・開催地 東京
- ・修了者 68名

### ■修了者の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高齢分野 (対前年度増減)	コロナの ため中止	20 (△4)	53 (33)	43 (△10)	18 (△25)
障害分野 (対前年度増減)	コロナの ため中止	48	50 (2)	60 (10)	68 (8)

(注1) 車椅子姿勢保持基礎講習の前身である「車いすフィッティングセミナー」  
修了者は409名である。

## (5) 福祉用具テーマ別セミナー

特定のテーマを設定し、対象者を絞った専門性の高いセミナーを開催し、福祉用具、住宅改修等が生活全般の支援に役立つための専門的な知識、技術の向上を図ることを目的に、令和6年度は5テーマのセミナーを企画し実施した。

テ - マ	開 催 日	受講者数
車椅子の調整ポイントと実践	令和6年6月7日(金)	24名
初心者のための工具の基礎知識から車椅子の点検・整備	令和6年6月20日(木)～21日(金)	14名
今さら聞けない移乗用リフトの基本のハナシ	令和6年7月19日(金)	16名
ノーリフティングケアの基礎知識を学ぼう【徳島県開催】	令和6年11月27日(水)	30名
知って得する！排泄とおむつの基礎知識	令和6年12月14日(土)	21名

## (6) 認定補聴器技能者の養成

補聴器の安全で効果的な利用を推進するため、補聴器の選定等の相談に応じ、購入希望者に対する適合調整を実施し、使用指導を行うために必要な知識及び技能の習得を目的として認定補聴器技能者の4年間にわたる養成講習を行うとともに、最終年に認定試験を実施した。

また、申請、受講料納付前後の処理(請求書、領収書の自動発行)、申請取消、補聴器相談医検索画面等、受講者の利便性に考慮したシステムの一部改修を行った。

さらに、補装具費支給制度において、認定補聴器技能者が補聴器を調整する場合に加算額が支給されることに伴い、市区町村担当者が認定補聴器技能者の勤務先等を確認することができるよう協会ホームページから情報提供した。

① 認定補聴器技能者養成講習会を次のとおり実施した。

1) 第Ⅰ期養成課程のeラーニング

区 分	受講期間	受講者数	修了者数
第Ⅰ期養成課程のeラーニング	R6.7.1(月) ～10.31(木)	698名	647名

2) 第Ⅰ期養成課程のスクーリング

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	R7.1.16(木) ～1.17(金)	東 京	306名	302名
第2回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	R6.1.23(木) ～1.24(金)	東 京	296名	294名
合 計			602名	596名

※「修了者数」には、再受験での修了者も含む。

3) 第Ⅱ期養成課程の集合講習

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	R6.10.18(月) ～10.22(金)	東 京	320名	317名
第2回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	R6.12.2(月) ～12.6(金)	東 京	282名	285名
合 計			602名	602名

※「修了者数」には、再受験での修了者も含む。

4) 第Ⅲ期養成課程の実技実習

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	R6.8.5(月) ～8.6(火)	東 京	198名	198名
第2回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	R6.8.7(水) ～8.8(木)	東 京	199名	199名
第3回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	R6.8.8(木) ～8.9(金)	東 京	160名	160名
合 計			557名	557名

5) 第Ⅳ期養成課程の集合講習

区 分	開催日	場 所	受講者数
大阪開催	R6.6.5(水)	大 阪	183名
福岡開催	R6.6.19(水)	福 岡	107名
東京開催	R6.7.1(月)	東 京	272名
大宮開催	R6.7.2(火)	埼 玉	85名
合 計			647名

6) 認定補聴器技能者試験

区分	試験日	場所	出願者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
第32回認定補聴器 技能者試験	R6.11.6(水)	東京	636	635	519	81.7

認定補聴器技能者試験合格者累計:6,771名(平成5年第1回～令和6年度第32回)

認定補聴器技能者登録者数:5,226名(令和7年4月1日現在)

■受講者及び受験者の推移

	第I期養成課程 eラーニング	第I期養成課程 スクーリング	第II期養成課程 集合講習	第III期養成課程 実技実習	第IV期養成課程 集合講習	認定補聴器 技能者試験
令和4年度 (対前年度 増減)	551 (△82)	591 (△42)	645 (344)	443 (92)	385 (27)	388 (15)
令和5年度 (対前年度 増減)	755 (204)	701 (110)	551 (△94)	660 (217)	413 (28)	420 (32)
令和6年度 (対前年度 増減)	698 (△57)	602 (△99)	602 (51)	557 (△103)	647 (234)	635 (215)

② 認定補聴器技能者に対する講習を次のとおり実施した。

(資格更新のため、5年以内に指定された7課目の講習受講が必要)

区分	課目	開催日	場所	受講者数
宮城開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R6.6.13(木) ～6.14(金)	仙台	96名
神奈川開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R6.6.26(水) ～6.27(木)	川崎	127名
新潟開催	臨床医学、補聴器の機能・音響、接遇、障害者福祉・リハ	R6.7.7(日)	上越	46名
北海道開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R6.7.11(木) ～7.12(金)	札幌	70名
福岡開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R6.7.24(水) ～7.25(木)	福岡	178名
埼玉開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R6.7.27(土) ～7.28(日)	大宮	103名
大阪開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R6.7.31(水) ～8.1(木)	大阪	210名
岡山開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R6.8.20(火) ～8.21(水)	岡山	105名
東京開催	法規、機能・音響、接遇、障害者福祉・リハ、フィッティング、臨床医学、音声・言語	R6.9.2(月) ～9.3(火)	東京	229名
愛知開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R6.9.6(金) ～6.7(土)	名古屋	120名
合計				1,284名

### 3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）

#### 福祉用具の臨床的評価に関する実態調査

福祉用具の有効性・安全性の確保・利用の促進という視点で、福祉用具の評価、認証、表彰の実態を調査し、今後の当協会における福祉用具臨床評価事業の方向性を整理・検討した。

### 4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）

#### （1）厚生労働省の補助金等による事業

##### ① 福祉機器開発普及等事業

知的障害をテーマに、「障害者自立支援機器（以下「支援機器」。）」に係るニーズ情報の収集及び提供の在り方について検討した。具体的には、知的障害者及び関連団体や施設等、支援者・家族等を対象にヒアリング調査及びアンケート調査を実施し、得られた情報を支援機器開発及び環境整備のための「ニーズ」として整理した。更にこれらニーズを、当協会が運用する「福祉用具ニーズ情報収集・提供システム」を活用して、知的障害者が必要としている支援機器開発及び環境整備等に関する情報収集・提供に繋げていく方策について検討した。

##### ② ニーズ・シーズマッチング強化事業

自立支援機器のユーザー（障害者等）側が持つ「ニーズ」と開発側が持つ「シーズ」のマッチングを目的とした「ニーズ・シーズマッチング交流会 2024」を開催した。これにより試作機等を用いて想定するユーザーと開発者が膝を交えて意見交換できる場を設け、障害当事者のニーズを適切に踏まえた実用的な機器が開発されるよう効果的なモニター評価を行う機会等を創出した。

令和6年度は、Web開催（4ヶ月間）及び東京と大阪にて会場開催を実施した。また、協会ホームページには「Web交流プラットフォーム」を構築し、Web上でのマッチングを可能にするとともに、セミナーや講演等の内容については、常時配信や定期配信を行った。地域交流会は、那覇、高知、仙台の3会場にて開催した。

#### 【Web開催】

- ・開催日 令和6年10月1日（火）～令和7年1月31日（金）
- ・場所 テクノエイド協会 Web交流プラットフォーム内
- ・出展参加 102企業・団体
- ・トップページアクセス数 12,323回

#### 【大阪会場】

- ・開催日 令和6年11月25日（月）～27日（水）
- ・場所 OMM（2階展示Aホール・Fホール）
- ・出展参加 58企業・団体
- ・当日来場者 406名

## 【東京会場】

- ・開催日 令和6年12月10日（火）～12月12日（木）
- ・場所 東京都立産業貿易センター浜松町館（5階展示室）
- ・出展参加 88企業・団体
- ・当日来場者 841名

### ③ 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

福祉用具・介護ロボット（以下「介護機器等」）について、開発・普及の支援と開発企業や介護施設に必要な情報提供等を行った。また、相談窓口を設置し、行政、関係団体、一般の方等の幅広い問合せに対応する体制を整えた。

令和6年度は、介護ロボットのプラットフォーム事業等において必要なツール作成等の支援業務等をはじめ、介護機器の利用に関する安全性の確保や普及活動を行うことにより、介護機器の実用化を促す環境を整備し、介護ロボットの開発から普及までの一連の流れを加速化することを目的とした。

本事業で実施した主な事業内容は以下のとおりである。

#### 1) モニター調査等の実施

高齢者介護の現場において、真に必要とされる介護機器等の開発に資するため、開発早期段階の介護機器等について意見交換を行う「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」、実機による試用を行い専門職が助言する「試作機器へのアドバイス支援事業」及び、実際の介護現場において使い勝手の確認等を行う「モニター調査事業」を実施した。

#### 2) 介護ロボット全国フォーラム

国民の誰もが介護ロボットについて必要な知識が得られるよう普及・啓発を促進するため、「介護ロボット全国フォーラム」を開催した。会場及びオンライン参加を合わせ、約780名の方にご参加いただいた。

#### 3) 介護ロボット活用ミーティング

介護職員による介護機器の効果的な活用を促すことを目的に「介護ロボット活用ミーティング」を開催した。

発表者は有識者の他、介護ロボットの開発・実証フィールドに登録している施設・事業所等からも希望者を募り、10事業所（10事例）にご発表いただいた。

#### 4) 介護機器等の実態調査

都道府県の地域医療介護総合確保基金によって実施されている「介護ロボットの導入支援事業」等の実施状況についての取りまとめを行った。

また、開発・導入に係る助成制度について全国調査を行い、その結果を都道府県別に閲覧できるよう集約した。

#### 5) 介護機器等の安全利用に関する取組

本取組みでは、福祉用具等の利用に伴う安全性等の確保をより一層推進するため、「事故やヒヤリハットの情報」を効果的に活用するための検討委員会を設立し、必要な整理を行うとともに、事故等の報告及び関係機関等への発信を行った。

具体的には、実際に発生した事故情報等の要因分析を行い、重症事故等を未然に防ぐための事例を作成し、冊子の配布及びホームページから情報発信した。これまでの取組を合わせ、全421事例の情報提供を行っている。

#### 6) 冊子の作成

モニター調査等の実施結果を取りまとめた「福祉用具・介護ロボットの開発と普及」及び、全国の相談窓口にて試用貸出を受付ける場合に活用する「介護ロボットの試用貸出リスト」などの冊子を作成し関係機関等へ配布した。

### ④ 福祉用具貸与価格適正化推進事業

介護保険における福祉用具貸与価格の適正化を推進するため関係機関と連携を図りながら、価格情報の把握及び公表、相談窓口の設置等を行った。

福祉用具貸与サービスの給付費請求時に必要とされる商品コードについては、毎月1日に公表するとともに、貸与価格の上限については、令和6年4月、7月、11月及び令和7年1月の計4回、厚生労働省及び国保中央会とデータ連携を行い、協会ホームページから情報提供した。

### ⑤ 障害者政策総合研究事業

現在、身体障害者非該当の高齢者に対して自治体独自の補聴器購入費助成制度（独自助成制度）を導入している自治体が急速に増加している。このため、本邦における自治体独自補聴器購入費助成制度の現状について調査する必要性が緊急に生じたものである。今回は、全国の自治体の担当者を対象にWebベースの調査を行い、自治体における独自助成制度の規模・助成内容・助成実績についての現状調査を行った。

## (2) 消費生活協同組合の助成金による事業

### ○消費生活協同組合助成金事業

令和6年度においては、電動ベッドの正しい使い方等を映像で記録し、理解しやすいように編集を行ったうえで、ホームページや動画サイト等で配信した。

## 5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）

義肢装具士法による指定試験機関として、第38回義肢装具士国家試験を実施した。

- ・試験日 令和7年2月21日（金）
- ・試験地 東京
- ・合格発表 令和7年3月26日（水）

### ■試験結果

受験者数	合格者数	合格率
186人	133人	71.5%

第1回～第38回までの累積合格者数は6,460名

### ■受験者、合格者及び合格率の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受験者数 (対前年度増減)	227 (19)	181 (△46)	200 (19)	194 (△6)	186 (△8)
合格者数 (対前年度増減)	165 (1)	124 (△41)	162 (38)	154 (△8)	133 (△21)
合格率	72.7%	68.5%	81.0%	79.4%	71.5%

## 6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）

補聴器の適正な利用・普及の一層の推進を図るため、所要の人的及び物的要件並びに事業運営上の基準に適合していることが、書類審査と実地調査によって確認された補聴器販売店を「認定補聴器専門店」として認定するとともに、5年毎の更新認定を受けた店舗と合わせて認定補聴器専門店に関する情報を協会ホームページから提供した。

令和6年度より、更新認定を行う店舗においては書類審査等から総合的に判断し、実地調査の可否を決定した。結果、151店舗（新規認定91店舗、1年認定12店舗、更新認定48店舗）に対し、実地調査を行った。

令和6年度新規認定	89店
令和6年度更新認定	314店
令和7年度認定店（R7.4.1）	1,083店

■新規認定、更新認定及び認定店の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規認定 (対前年度増減)	0 (△92)	95 (95)	49 (△46)	40 (△9)	89 (49)
更新認定 (対前年度増減)	148 (△90)	278 (130)	124 (△154)	211 (87)	314 (103)
認定店 (対前年度増減)	879 (0)	951 (72)	985 (34)	1,005 (20)	1,083 (78)

7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）

福祉用具について学習する者のために、福祉用具関連書籍の販売等を行っている。

書 籍 名	販売部数
福祉用具支援論	97
ICFの視点に基づく自立生活支援の福祉用具	274
計	371

8. その他

(1) 福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットフォーム」としての役割を果たすための連携・支援

①「福祉用具」関係者新年交流会の開催

福祉用具関係者の団体、行政関係者、企業などが一堂に会して報告や意見交換を行い、ネットワーク形成を行う場としての新年交流会を開催した。

- ・日 時 令和7年1月14日（火）13：30～19：30
- ・会 場 アルカディア市ヶ谷（穂高の間、大雪の間）
- ・参加者 134名（行政、専門職、メーカー、供給事業者等）
- ・内 容 第1部 関連団体報告会、第2部 懇親会

②介護実習・普及センター等オンラインミーティングの開催

全国福祉用具相談・研修機関協議会と連携し、福祉用具、介護テクノロジー等を地域で普及・啓発するための拠点となる全国の介護実習・普及センター等との意見交換、情報共有を行うための会議を開催した。

- ・開催日 令和6年7月18日（木）
- ・場 所 （公財）テクノエイド協会
- ・参加者 9団体・11名

## (2) 広報活動

① 「福祉用具の日」推進事業の一環として実施する「福祉用具川柳コンテスト」にかかるポスター等の配布等を行った。

③ 国際福祉機器展等への出展

下記のとおり展示会等に出展し、国際福祉機器展では、福祉用具、義肢装具及び補聴器等の適切な普及促進を推進するため、関係団体の協力を得てパネル展示等の啓発普及活動を行った。

名 称	会 期	会 場
第125回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会	令和6年5月16日～18日	大阪国際会議場
第25回日本言語聴覚学会	令和6年6月21日～22日	神戸国際会議場
第69回日本聴覚医学会	令和6年10月24日～25日	帝京平成大学
第51回国際福祉機器展(HCR)	令和6年10月2日～4日	東京ビックサイト

③ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による広報活動を検討した。

## (3) 海外調査の企画支援

我が国の福祉用具関連企業や研究者等が、各国の福祉機器の開発状況や活用実態を把握するため、当初タイ国等のリハビリテーション業界の視察を計画していたが最少催行人員に達しないため中止とした。

## (4) 諸外国との交流支援

①AT Life2024 台湾福祉機器および長期介護展示会等への参加

令和6年5月16日から19日に台北で開催された「AT Life2024」から招待され、日本の福祉用具ならびに介護テクノロジーに係る最近の取り組み状況を報告した。併せて、会期中に開催された優良貸与製品に対する表彰式にも参加した。

②台日中小スマートテクノロジー、高齢者介護エコシステム創出フォーラムへの参加

令和6年9月19日、台湾の中小企業庁及び台日産業史推進センターが企画した「台日中小スマートテクノロジー研究フォーラム」等に参加し、日台双方の福祉機器のメーカー及び介護事業者等によるワークショップのファシリテーターを務め、お互い取組や課題についての情報を共有した。

## II. 理事会・評議員会の開催状況

開催年月日	回 次	主 な 議 題 等	出 席 等
令和6年5月28日	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決議事項</li> <li>①令和5年度事業報告及び決算</li> <li>②諸規程改正等</li> <li>③第1回評議員会の招集</li> <li>④役員等賠償責任保険契約の更新</li> <li>・報告事項</li> <li>①基本財産の運用状況について</li> <li>②職務の執行状況について</li> </ul>	決議に必要な出席理事の数8名(出席14名、欠席1名)、監事出席2名
令和6年6月12日	第1回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①令和5年度事業計画及び予算変更</li> <li>②令和6年度事業計画及び予算</li> <li>③基本財産の運用状況について</li> <li>④職務の執行状況について</li> <li>・決議事項</li> <li>①令和5年度事業報告及び決算</li> <li>②諸規程改正等</li> <li>③役員等賠償責任保険契約の更新</li> </ul>	決議に必要な出席評議員の数8名(出席12名、欠席3名)
令和7年2月26日	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決議事項</li> <li>①令和6年度事業計画及び予算の変更</li> <li>②令和7年度事業計画及び予算</li> <li>③役員等賠償責任保険契約の更新</li> <li>④理事の利益相反取引承認</li> <li>⑤第2回評議員会の招集</li> <li>・報告事項</li> <li>①職務の執行状況について</li> <li>②任期満了に伴う役員継続意向調査</li> <li>③公益法人等制度改革について</li> </ul>	決議に必要な出席理事の数8名(出席13名、欠席2名)、監事出席2名
令和7年3月23日	第2回評議員会 書面決議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決議事項</li> <li>①役員等賠償責任保険契約の更新</li> </ul>	評議員15名(書面による同意書)

### Ⅲ. 賛助会員の現況

#### 1. 会員の構成（令和7年3月末現在）

法人会員：65団体（83口）      個人会員：7名（7口）

#### 【内 訳】

属 性	会員数	構成比
福祉用具製造事業者	41	56.9%
福祉用具供給事業者	3	4.2%
関係団体	14	19.5%
介護・福祉施設	1	1.4%
その他の企業	6	8.3%
個人	7	9.7%
計	72	100%

#### 2. 入会及び退会

○入会（なし）

○退会（法人3団体、個人1名）

#### IV. 委員会等の開催状況（テクノエイド協会が主催等を行うもの）

開催日	行事等
4月3日	認定補聴器専門店説明会
4月10日	認定補聴器技能者更新審査制度のあり方に係る検討WG
4月11日	認定補聴器専門店説明会
4月13日	認定補聴器専門店 認定審査方法に係る検討WG
4月24日	第1回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
5月13日	監事監査
5月16日	福祉用具プランナー管理指導者養成研修（起居移乗コース）～22日
5月24日	第2回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
5月25日	第1回認定補聴器専門店審査部会
5月28日	第1回理事会
5月30日	第1回可搬型階段昇降機安全指導員 基礎講習
5月31日	認定補聴器専門店書類審査・実地調査委員会議
6月5日	認定補聴器技能者養成事業第Ⅳ期養成課程講習会（大阪）
6月7日	福祉用具テーマ別セミナー「車椅子の調整ポイントと実践」 介護ロボットメーカー連絡会議
6月9日	第6回リフトリーダーカリキュラム・テキスト改訂委員会
6月12日	第1回評議員会
6月13日	認定補聴器技能者に対する講習（仙台）～14日 第2回認定補聴器技能者更新審査制度のあり方に係る検討WG
6月17日	義肢装具士国家試験 方針決定・出題依頼会議
6月19日	認定補聴器技能者養成事業第Ⅳ期養成課程講習会（福岡）
6月20日	福祉用具テーマ別セミナー「初心者のための工具の基礎知識から車椅子の点検・整備」
6月25日	第3回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
6月26日	認定補聴器技能者に対する講習（川崎）～27日
7月1日	認定補聴器技能者養成事業第Ⅳ期養成課程講習会（東京） 福祉用具プランナー管理指導者養成研修（車椅子シーティングコース）～7日
7月2日	認定補聴器技能者養成事業第Ⅳ期養成課程講習会（大宮）
7月4日	第1回補聴器技能者養成部会
7月7日	認定補聴器技能者に対する講習（新潟）
7月11日	認定補聴器技能者に対する講習（札幌）～12日
7月14日	福祉用具プランナー試験問題検討委員会

7月17日	ニーズ・シーズマッチング交流会出展企業等説明会
7月19日	福祉用具テーマ別セミナー「今さら聞けない移乗リフトの基本のハナシ」
7月24日	認定補聴器技能者に対する講習（福岡）～25日 認定補聴器専門店書類審査精査委員会
7月25日	第4回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
7月27日	認定補聴器技能者に対する講習（大宮）～28日 第2回認定補聴器専門店審査部会
7月29日	第2回可搬型階段昇降機安全指導員 基礎講習
7月31日	認定補聴器技能者に対する講習（大阪）～8月1日
8月1日	介護ロボット等モニター調査検討委員会
8月2日	介護機器の安全利用に関する整理・報告・発信について 第1回検討委員会 シーズ・ニーズマッチング強化事業 第1回企画委員会
8月5日	認定補聴器技能者第Ⅲ期講習会～9日
8月23日	補聴器技能者試験部会 問題選定会議 介護機器の安全利用に関する整理・報告・発信 第1回部会
8月26日	第5回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
8月28日	認定補聴器技能者に対する講習（名古屋）～29日
8月30日	義肢装具士国家試験 実地分野打合せ会議
9月2日	認定補聴器技能者に対する講習（東京）～3日
9月6日	認定補聴器技能者に対する講習（名古屋）～7日
9月9日	義肢装具士国家試験 問題選定会議
9月11日	第1回 リフトリーダー養成研修～12日
9月12日	ニーズ・シーズマッチング地域交流会（高知）～13日
9月17日	ニーズ・シーズマッチング地域交流会（沖縄）
9月24日	第6回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
9月25日	認補聴器技能者試験部会
10月2日	認補聴器技能者養成部会WG
10月7日	義肢装具士国家試験 問題決定会議
10月12日	ニーズ・シーズマッチング地域交流会（仙台）～13日
10月25日	第7回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
10月26日	福祉用具プランナー認定講習～11月1日
11月5日	介護ロボット活用ミーティング～7日
11月6日	第32回認定補聴器技能者試験
11月11日	義肢装具士国家試験 問題検閲会議 介護ロボット活用ミーティング～12日
11月13日	福祉用具プランナー管理指導者研修（福祉用具工学コース）～19日

11月14日	介護テクノロジー利用の重点分野に該当する製品の検討委員会
11月18日	認定補聴器技能者第Ⅱ期養成課程講習会 日程① ～22日
11月22日	第8回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
11月23日	リフトリーダー養成研修カリキュラム等改訂委員会
11月25日	ニーズ・シーズマッチング交流会（大阪開催）～27日
11月27日	福祉用具テーマ別セミナー「ノーリフト編」
11月29日	可搬型階段昇降機安全指導員 基礎講習
12月2日	認定補聴器技能者第Ⅱ期養成課程講習会 日程② ～6日
12月9日	義肢装具士国家試験 問題校正会議
12月10日	ニーズ・シーズマッチング交流会（東京開催）～12日
12月11日	リフトリーダー養成研修
12月14日	福祉用具テーマ別セミナー（知って得する！排泄とおむつの基礎知識）
12月18日	車椅子姿勢保持基礎講習会
12月20日	補聴器技能者試験部会
12月23日	第9回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
12月26日	介護機器の安全利用に関する整理等、第3回事例検討部会
1月10日	義肢装具士国家試験問題最終確認会議
1月14日	「福祉用具」関係者新年交流会
1月20日	福祉用具プランナー管理指導者研修（管理・指導コース）～26日
1月23日	認定補聴器技能者第Ⅰ期スクーリング 日程② ～17日
1月27日	第10回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
1月28日	補聴器技能者養成部会
1月31日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習 介護ロボット全国フォーラム
2月2日	認定補聴器専門店実地調査委員会議 認定店補聴器専門店審査部会
2月8日	福祉用具プランナー認定講習 ～14日 補聴器協議会
2月21日	第38回義肢装具士国家試験
2月25日	第11回 介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
2月26日	第2回理事会
3月10日	義肢装具士国歌試験 問題審査・合否案決定会議
3月12日	第12回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
3月26日	第38回義肢装具士国家試験合格発表